

臨床検体使用に関するお知らせ

『研究課題名 破裂脳動脈瘤の気象との関連』

【研究の背景および目的】

破裂脳動脈瘤による、くも膜下出血は一般的に冬や気温が低い時に起きやすいことが知られています。しかしながら、動脈瘤の大きさや発生部位等の詳細な情報との関連性についての報告は過去にありません。

そこで、東邦大学医療センター大森病院 脳神経外科では、当施設に搬送されたくも膜下出血患者の詳細な情報を元に破裂脳動脈瘤と気象との関連性について検討することを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、気象環境における脳動脈瘤の破裂因子の特定につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

1998年～2018年までに東邦大学医療センター大森病院において、くも膜下出血で搬送された症例で、破裂脳動脈瘤が同定された症例(約500例)を対象とします。

診療録(カルテ)から抽出した患者データ、破裂脳動脈瘤データ(動脈瘤発生部位 最大径等)と気象庁のデータベースから抽出した破裂日の3日前から当日までの気象データを元に、破裂脳動脈瘤の特徴と気象条件との関連性を解析することにより、脳動脈瘤の破裂に影響を与える因子を調査します。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報や病理解剖結果を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院
脳神経外科
職位・氏名 教授 周郷 延雄
電話 03-3762-4151 内線 6615